

事業所名

放課後等デイサービス メープルリーフ

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和8 年

3 月

11 日

法人(事業所)理念		○学校教育法に規定する学校(幼稚園及び大学を除く)に就学している障がいのある児童を対象とし、放課後及び休日(春休み・夏休み・冬休み等の長期休暇を含む)において支援を行う。集団行動適応訓練(集団活動における約束や決まりごと等)、日常生活動作訓練(身支度の練習、トイレの自立、食事面の支援等)、社会適応訓練(外出活動、買い物活動、公共施設の利用等)などの療育活動および余暇支援を通して、児童一人ひとりの成長を支援することを目的とする。 ○余暇の充実を図ることを中心に、放課後等の安心できる居場所づくりと療育活動を行い、自立生活および集団生活への適応を促していく。また、利用者家族への支援としてレスパイトケアの機能も担い、家族が安心して子育てができる環境づくりに努める。さらに、当麻町および近隣市町村の地域資源を活用し、地域に根付いた支援を行うことを目的とする。	
支援方針		○プレイルームや感覚統合室を活用し、子どもたちが楽しく体を動かすことができる活動の場を提供しています。また、屋内活動だけでなく、夏季には屋外での活動も取り入れ、さまざまな環境の中で体験を広げられるよう支援しています。プレイルームでは子どもたちが集まり、集団活動を行うことで、仲間との関わりの中から協調性やコミュニケーション力の向上を促しています。さらに、四季に応じた活動プログラムの提供や、日常生活ではなかなか経験することのできない非日常的な体験を取り入れることで、新たな発見や気づきを得ながら成長していくことを大切にしています。	
営業時間		平日:9:00~18:00 サービス提供時間(13:00~17:00) 休日:9:00~18:00 サービス提供時間(9:00~16:30)※学校休業時	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・手洗いやうがい、衣服の着脱、トイレ等の基本的な生活習慣について支援を行い、身辺自立に向けた力を育てます。 ・清掃の時間を設け、子ども一人ひとりが出来ることを増やしなが、役割分担のある活動を通して主体的に取り組む経験を大切にします。 ・調理活動を通して、食生活や調理に興味を持てるよう支援し、食に対する関心を育てます。(食育)	
	運動・感覚	・正しい姿勢で学習や活動に取り組めるよう支援を行います。 ・さまざまな活動を通して身体を使った運動を取り入れ、屋内外で実施できる運動の中から体の使い方を学びます。 ・一人ひとりの苦手な部分や障がい特性、年齢等を踏まえながら、楽しく体幹を身につけることができるよう、個々に応じた運動・感覚プログラムを提供します。	
	認知・行動	・支援プログラムにおいて目標設定や振り返りを行い、時間やルールを意識する力を育てるとともに、達成できたことを称賞することで自己肯定感を育みます。 ・個別のプリント学習(宿題等)を通して、文字の読み書きや計算能力の習得を支援します。必要に応じて、メープルにて学習プリントや課題の提供も行います。 ・工作や調理活動を通して、完成をイメージしながら手順に沿って取り組む経験を増やし、見通しを持って行動する力を育てます。 ・危険認知については、外出活動の際に危険な場所や行為について事前に説明を行い、安全に行動するための理解を深めます。	
	言語コミュニケーション	・集団活動のゲームやプリント学習を通して、自分の思いや気持ちを口頭や文章で相手に伝えることができるよう支援します。 ・年齢や発達段階に応じて、適切な言葉遣いや相手の気持ちを思いやるコミュニケーションが身につくよう支援します。 ・発語が難しい子どもについても、自分の気持ちを表現する楽しさや嬉しさを感じられるようサポートを行います。 ・発音や発語、サイン等も活用しながら、一人ひとりの特性に応じた方法で適切に思いを伝えられるよう支援します。	
	人間関係社会性	・日々の生活や学校生活の中での困りごとや人間関係のトラブルについて振り返りを行い、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を通して適切な関わり方を学ぶ機会を設けます。 ・集団活動を通して、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロール方法を学ぶ機会を取り入れます。 ・問題行動の未然防止に向けて、物事の善悪について理解を深めるプログラムや振り返りを行い、相手の気持ちや人との適切な距離感を考える時間を大切にします。	
家族支援	・送迎時に当日の様子や出来事を保護者へお伝えし、安心して通所していただけるよう努めます。引き継ぎが難しい場合には、連絡ノートやLINE等を活用し情報共有を行います。 ・関係者や関係機関と連携を図りながら支援体制を構築し、子ども一人ひとりに応じた継続的な支援につなげていきます。	移行支援	・関係機関との連携を図りながら支援体制を構築し、子ども一人ひとりの状況に応じた継続的な支援につなげていきます。 ・将来の就学や就労を見据え、必要に応じて助言を行うとともに、かたるへの森の資源を活用しながら就労先や進路についてのイメージづくりを支援します。
地域支援・地域連携	・地域の公共施設等を活用し、地域資源を取り入れた活動を行います。 ・学校や関係機関、各サービス事業所と連絡を取りながら、必要に応じて連携会議を開催し、情報共有を図ります。 ・地域との交流の機会を設け、地域の方々に事業所の取り組みを知っていただくとともに、地域に開かれた事業所づくりを目指します。	職員の質の向上	・法人内で実施される研修へ参加し、職員の知識や支援技術の向上を図ります。(年2回程度) ・近郊で開催される研修へ随時参加し、児童支援プログラム等に関する知識や専門性の向上に努めます。 ・虐待防止や権利擁護、意思決定支援に関する研修を受講し、利用者の権利を尊重した支援の実践に努めます。
主な行事等		平日:支援プログラム及び自由遊びや宿題への取り組み、清掃活動等を通して、日常生活習慣の定着や自主性を育てる支援を行います。 休日:外出活動や調理活動(外食体験、昼食作り、おやつ作り等)を取り入れ、楽しみながら社会経験や生活経験を広げる活動プログラムを実施します。 ※行事や開催予定のイベントについては下記の通りです。 【年間行事】 進級式/JR外出/お花見パーティー/子ども縁日/魚釣り(遊漁船)/流しそうめん/キャンプ/たき火/ハロウィンパーティー/クリスマス会/忘年会 新年会/氷上チカ釣り/雪まつり/餅つき/豆まき/ワカサギ釣り/お別れ会/販売会体験	